

本時のねらい

・「かたち」を表す漢字（象形文字）や「抽象的なもの」を点や線で表した漢字（指事文字）の成り立ちを知る。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・オクリンクを使い、自分の考えをクラスのみならず共有する。
・デジタル教科書を使い、漢字の成り立ちの種類ごとに色を分けて本文に線を引く、文章を視覚的に整理し捉える。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ iPad
- ・ オクリンク
- ・ デジタル教科書
- ・ AppleTV

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○今まで学習した漢字を書き出す。 ○本時の課題提示をする。 「かん字はどのようにできたのだろう」 	
展開 (28分)	<ul style="list-style-type: none"> ○象形文字の漢字と絵を比べて気づいたことについて、ものの形から漢字ができてきていることをおさえる。 ○“雨”という漢字はどんな絵からできているかを考え、オクリンクでカードを作り、共有する。 ○指事文字の漢字を表す図を見て、思い浮かぶ漢字をワークシートに書き、象形文字との違いを確認する。 ○これまで出てきた漢字の分類を予想する。 「“上・下”（指事文字）とそれ以外（象形文字）のチームに分けられそうです。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○カードを作る前に、漢字の特徴を確認し、絵のイメージをつかむ。 ○完成したら提出 BOX に提出する。提出 BOX の中を見てもよいこととし、自然と共有できるようにしておく。 ○全体に説明する児童の絵は、AppleTV で前のスクリーンに映す。 ○“雨”という漢字の成り立ちをデジタル教科書で確認する。
まとめ (7分)	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめをワークシートにかく。 ○“森”という漢字はどのチームに入るかを考える。 「木が3つだから“すがた”（象形文字）からできている。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教科書で漢字の成り立ちの種類ごとに色を分けて本文に線をひき、文章を視覚的に整理し捉える。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1：雨という漢字がどんな絵からできているのかオクリンクに記入する様子



写真2：自分の考えをプロジェクターに映し、発表する様子



写真3 デジタル教科書で本文に線を引く様子

児童生徒の反応や変容

・漢字の成り立ちを知り、とても驚いていた様子だったので、「雨」の成り立ちを自分なりに考え表す活動に非常に意欲的に取り組むことができました。
・提出 BOX の中を見てもよいこととしていたので、自然と共有が始まり、他の児童の考えを参考にして取り組む様子も見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・オクリンクを使うことで、たくさんの人と瞬時に共有ができる。
・デジタル教科書のコンテンツ（動画等）を活用することで、児童の理解度をより高めることができる。
・1年生でもオクリンクやデジタル教科書を何度も使い慣うことによって使いこなすことができる。